

もくじ はじめに……3  
日本のこよみ 二十四節気・七十二候……4

## 立春

春のはじまるころ……6  
春のおとずれを知らせる花……7  
ウグイスが鳴くころ……8  
くらべてみよう……8  
ウグイス色はどんな色？……9

## 雨水

ツクシが芽生えるころ……10  
道ばたに咲く小さな花……11  
ツクシとスギナ……11  
ナノハナが咲くころ……12  
くらべてみよう……13

## 啓蟄

アマガエルが目覚めるころ……14  
目覚めた生き物たち……14  
アマガエルの大変身！……15  
モンシロチョウがあらわれるころ……16  
モンシロチョウの一生……16

## 春分

サクラが咲くころ……18  
サクラずかん……20  
2022年サクラ前線……21

## 清明

ツバメが来るころ……22  
ツバメはどこから来るの？……23  
タンポポが咲くころ……24  
くらべてみよう……25  
真冬にも咲くタンポポ……25

## 穀雨

山の木々が芽吹くころ……26

春は花の季節……28

生物季節観測から見る 季節のおとずれを知らせる生き物……30

## はじめに

みなさんはどんな時に季節の変化を感じるでしょうか。自然界の動植物の多くは、人間よりも敏感に季節を感じて生活しているので、人々は昔からこうした生き物のようすを見て、いち早く季節の変化を感じとることができました。これは二十四節気・七十二候などのこよみにも表されています。そこでこの本では、こよみと照らし合わせながら自然界の生き物たちが教えてくれる季節の変化を集めてみました。これをヒントに素晴らしい日本の季節を改めて感じてもらえたら幸いです。



ウグイスが鳴くころ



あき ふゆ あいだ  
秋から冬の間、ウグイスはやぶ  
なか  
の中にひそんで「チャッ、  
チャッ」と小さな声こえで鳴くだけ  
ちい  
(地鳴きという)でしたが、春  
はる  
になるとオスがメスに自分をア  
ピールし、なわばりをしめすた  
めおおに大きな声こえで「ホーホケッ  
キョ」とさえずるようになります。



くらべて  
みよう

からだは黄色きいろがかった緑色みどりいろ  
で、その名なのとおり目めのま  
わりには白しろいリングがある。



ウグイス

からだ全体が灰色がかった地味  
なオリーブ色で、目の上に白っ  
ぽい線があるのが特ちょう。

ウグイス<sup>な</sup>鳴く

ウグイスが<sup>やまざと</sup>山里で<sup>な</sup>鳴きはじめる

しちじふにこう  
**七十二候**



メジロ

## ウグイス色はどんな色？



ウグイス色は本来、ウグイス  
の色ですが、ウグイス餅など  
の色はメジロの色に近い。

ウメの花のみつを吸っているのはメジロです。甘  
党の小鳥で果実や花のみつが大好きなのです。よ  
く「ウメにウグイス」といいますが、ウグイスは  
みつを吸うことにはないので、昔からメジロをウグ  
イスと見まちがえていたのかもしれません。



ウグイス<sup>まめ</sup>豆<sup>いろ</sup>の色はどう見てもウグイス<sup>み</sup>よりメジロににている。



春分

しゅんぶん

3月20日ごろ

サクラが咲くころ

南からサクラの開花の便り（サクラ前線）が少しずつ北上してきて、東京周辺で開花するのが、たいたい春分を少し過ぎたころでしょうか。お花見が春の風物詩であることから分かるように、人々はサクラの花を見てはじめて春を実感するようです。

もっとも、最も親しまれているサクラで、サクラ前線も本種が基準になっている。



ソメイヨシノ

七十二候

サクラはじめて開く

サクラの花が咲きはじめる